

# 島根県益田市二川地区

地域づくりのテーマ： 自然とともに 人とともに生きる 温もりある二川



## ①地区の概要

### 【地区の現況】

人口145人、世帯数85、高齢化率61.4%(令和7年12月末時点)

### 【地区の魅力】

美都温泉、道の駅による集客に加えて、柴犬の聖地として新しい人の流れができてつあります。令和5年度からは宿泊交流センターの運営が始まり、人ととどめてつなげる拠点として活用していきます。

### 【地区の課題】

高齢化により地域で受け継がれてきた生活の知恵が引き継がれることなく消滅しつつあります。また、地域行事に関わる人材不足も深刻で、関係人口の創出が急務です。限られた人口の中で生活を維持し続ける体制も考え直す必要があります。

## ②実施団体の概要

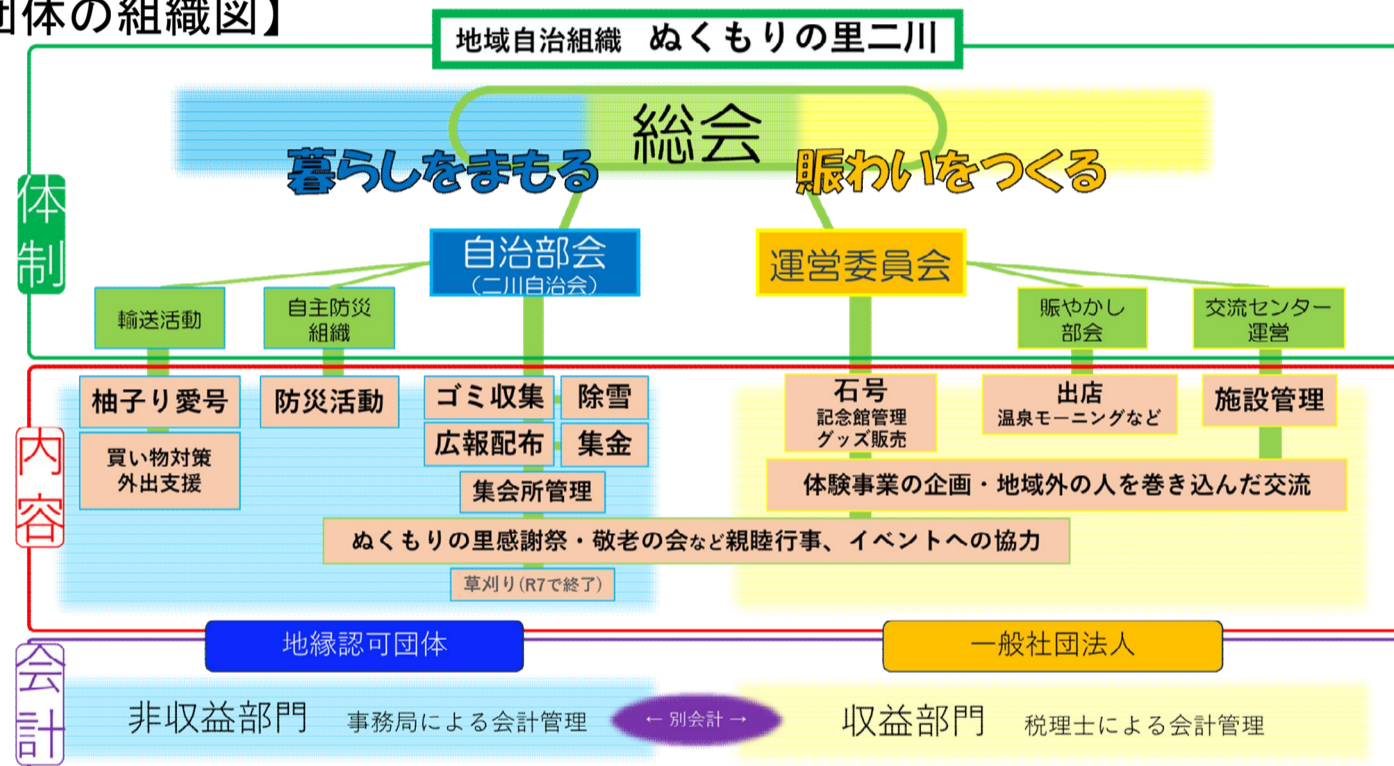
### 【団体の名称】

ぬくもりの里二川

### 【構成団体、構成員】

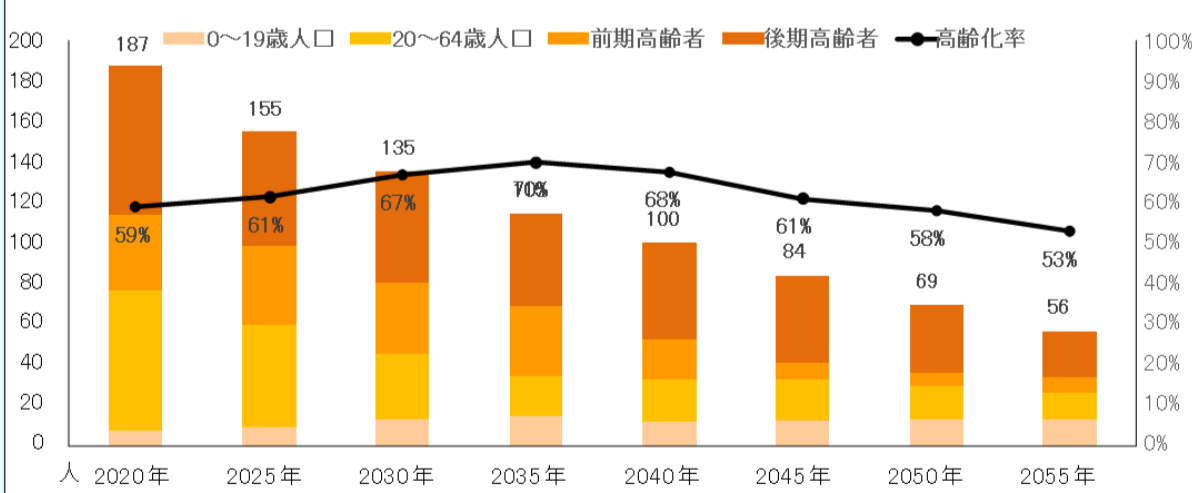
自治会  
婦人会  
老人クラブ  
美都温泉  
道の駅  
営農組合蓬の会(加工グループ)  
公民館  
地区住民

### 【団体の組織図】



## ③地区の人口シミュレーション

### 【現行推移】総人口・高齢化率 益田市 二川地区



資料：島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

◇宿泊交流センターの管理運営  
体験事業

◇住民の住みやすさ  
自治会機能  
買い物支援  
外出の機会創出  
困りごと相談

◇地域の賑わい  
温泉モーニング  
イベントでの出店販売

◇特産  
柴犬の里の整備

### 【団体長メッセージ】

宿泊交流センターは、二川地区にもたらすメリットだけでなく、市内全域の交流や関係人口が増えるための施設として活用していきます。地域へのご協力をお願いとともに、近隣のみなさまにもご利用と、活用方法のご提案をお待ちしております。



# 島根県益田市二川地区

## ⑤こんなことが話し合われています

### 【運営体制】

今年度は自治組織と自治会を統合。非営利部門と営利部門に分けた新体制としました。

今後はこれまで別々に徴収していた会費の調整が必要です。

### 【体験事業の見直し】

宿泊交流センターを知ってもらうために体験行事を5回行いました。もっと面白くするためのブラッシュアップ、新しいことができないか、地元スタッフが楽しんでできるよう更新しています。

## ⑥こんな地域づくりを行なっています



美都温泉で月一回のうずめ飯モーニングは今年で8年目。キャンピングカーで来られる常連の方もできました。

利用ごとにスタンプをためると美都温泉の入浴券として使うことができるようにしています。



姉妹都市である川崎市と高槻市が施設を利用されました。特に川崎市とは2泊3日の行程中に、地元小学生との交流を行いました。

総勢約60人で鮎のつかみ取りと川の生態観察、木工体験、体育館でのゲームをして過ごしました。



石号記念館では、お気に入りの写真で作られる缶バッジの申し込みを行っています。また、事業継続のために募金を募っています。

募金を使い、11月2日の石号誕生日に4回目となる花束の贈呈と、市内の小中学校に絵本「石号ものがたり」を送りました。

お問い合わせ先

〒698-0202 島根県益田市美都町宇津川口386-3  
益田市立宿泊交流センター内 ぬくもりの里二川 事務局  
TEL: 070-4172-5366  
メールアドレス: nukumori-sato@maro-v.jp  
ホームページ: <https://nukumori-sato-futakawa.com>